

これからの ジェロントロジーを考える

— 新しい福祉国家像の実現に向けて —

このシンポジウムでは、東京大学高齢社会総合研究機構 (IOG) 及び、博士課程教育リーディングプログラム「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」(GLAFS) の教育・研究成果をもとに、これからのジェロントロジー (高齢社会総合研究学) のあり方を考えます。

日時
平成30年 **3月3日(土)**
10時30分～17時30分
(受付:10時より)

会場
東京大学浅野キャンパス
武田先端知ビル5F・武田ホール

入場無料

事前登録

Eメール:
glafs-event@iog.u-tokyo.ac.jp

FAX:
04-7136-6677

お申し込みの際、お名前・ご所属・ご連絡先 (電話番号、メールアドレス)・希望時間帯 (午前のみ・午後のみ・全てに出席) をご記入ください。

申込期限:
平成30年 **2月28日(水)**まで

お問い合わせは、上記のEメールアドレスまたはFAXまでご連絡ください。

【プログラム】

午前

10:30-12:30

GLAFS 共同研究成果報告会

〈研究テーマ〉

- 要介護高齢者の居住地選択要因
- 住み続けられる住環境の提案
- 住民主体のコミュニティ活動のデザイン
- 高齢者支援技術のニーズ・現状・調査

午後

13:45-14:00

IOG・GLAFS 活動紹介

14:00-15:00

基調講演

「超高齢社会における福祉国家のあり方」

神野 直彦 (東京大学名誉教授/日本社会事業大学学長)

15:20-17:20

パネルディスカッション

「これからのジェロントロジーを考える
— 新しい福祉国家像の実現に向けて —」

パネリスト

神野 直彦 (東京大学名誉教授/日本社会事業大学学長)

熊田 孝恒 (京都大学教授/GLAFS プログラムオフィサー)

山本 則子 (東京大学教授/GLAFS プログラム教員) 他

コーディネーター

大方 潤一郎 (東京大学教授/IOG 機構長)

【主催】

東京大学高齢社会総合研究機構 (IOG)

博士課程教育リーディング・プログラム

「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」(GLAFS)

プログラムの詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.iog.u-tokyo.ac.jp>

もしくは <http://www.glafts.u-tokyo.ac.jp>

IOG
東京大学 高齢社会総合研究機構
Institute of Gerontology, The University of Tokyo

GLAFS
Global Leadership Initiative
for an Age-Friendly Society

GLAFS
Global Leadership Initiative
for an Age-Friendly Society





「これからのジェロントロジーを考える」 事前登録申込用紙

お名前

ご所属

お電話番号

FAX

E メールアドレス

ご出席の時間帯 (該当に○印)

午前

・

午後

・

午前午後すべてに出席

申込期限：平成30年 2月28日(水)まで

FAX番号：04-7136-6677

